



芝生用除草剤

ダブルアップ® DG

シクロスルフアムロン水和剤

除草剤分類 2

成分

シクロスルフアムロン(化管法2種)..... 66.0%
 1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素
 鉱物質微粉、界面活性剤等.....34.0%
 [ドデシル硫酸ナトリウム(化管法1種)4.4%]

性状

類白色水和性細粒

225g入

製造 **BASFジャパン株式会社**
 本社 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 <https://turf-ornamentals.basf.co.jp>

®=BASF社の登録商標

芝生用除草剤

ダブルアップ® DG

シクロスルフアムロン水和剤

- ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	シクロスルフアムロンを含む農業の総使用回数	
			薬量	希釈水量				
日本芝 西洋芝 (ブルーグラス) 西洋芝 (ライグラス)	一年生 広葉雑草	芝生育期 (雑草発生前~ 生育初期)	30~60g	200~250ℓ	3回以内	全面土壌散布	3回以内	
作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	シクロスルフアムロンを含む農業の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園、庭園 堤とう、駐車場 道路、運動場 宅地、のり面 鉄道等	一年生及び 多年生 広葉雑草	雑草 発生前	45~ 90g	100~ 200ℓ	3回以内	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布	3回以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤の所定量を所要量の水で希釈し、均一に混合してから散布する。散布液調製後は速やかに使用する(分解)。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、時期を失しないように散布する。
- 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布する。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける(効果)。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さない。空袋は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指示を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 眼に入らないよう注意。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)。
 - 皮ふに付着しないよう注意。皮ふに付いた場合には直ちに石けんでよく洗い落とす(弱い刺激性)。
 - 散布時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔うがいをするとともに衣服を交換する。
 - 作業時の衣服等は他と分けて洗濯する。
 - かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
 - 公園、堤とう等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
 - 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管。
 - 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
 - 移送取扱いは、ていねいに行う。
- 魚毒性等・・・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(藻類)。使用残りの薬液が生じないように調製し、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

⚠ 保管上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所。
- 製造場：クニミネ工業株式会社 郡山工場
 福島県郡山市日和田町高倉榎田2-1
 最終有効年月(西暦下2ケタ)

